

質 問 回 答 書

平成 26年 1月 14日

「ベトナム国ベトナム裾野産業育成のための中小企業振興機関の機能・能力強化に関する情報収集・確認調査」

(公示日:平成 25年 12月 25日 公示番号:2)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

| 通番号 | 当該頁項目 | 質問 | 回答 |
|-----|--|--|--|
| 1 | 業務指示書 P 9 1 (1) 評価対象とする 業務従事者の担当分野 P20 2 (2) 業務従事者の構成(案) | 中小企業調査は2名「中小企業調査(3号)と中小企業調査」と記載されています(指示書 P20)。一方、評価対象者は総括/中小企業振興、中小企業調査と記載されています(同上 P6)。中小企業調査担当の評価対象は1名、または2名のいずれになりますでしょうか。なお、中小企業振興の評価対象者は1名でプロポーザルを準備しています。 | 「中小企業調査」分野での業務従事者は2名を想定し、うち1名のみを評価対象者としています。 したがって、評価対象者は総括 / 中小企業振興と合わせて計2名です。 |
| 2 | P13 4 (2) 備上するコンサルタントの候補 | 現地コンサルタントに企業情報データの収集・整理等を再委託する予定ですが、再委託費用は別見積りといたしたく、よろしいでしょうか。なお、備上と再委託は同じ意味と解釈しています。 | 再委託する場合、費用は本見積りに含めてください。 |
| 3 | 業務指示書 16 ページ「(4)ベトナム商工会議所の実態調査 (ウ)」 | 業務指示書では、ベトナム商工会議所がデータベースの維持管理を行うことが前提とされているように解釈できますが、ベトナム商工会議所がデータベース管理業務を受諾することは、貴機構(JICA)とベトナム商工会議所との間で既に打診・合意がなされているのでしょうか？ | 現段階ではベトナム商工会議所(VCCI)との調整を了しておりません。1月中旬に先方との調整を行います。調査開始前に調整が完了しない可能性があります。その場合でも日本側提案事項との位置づけで調査項目に含めます。 |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 4 | 業務指示書 15 ページ「5(2) (調査概要)で、調査対象企業:500 社以上」 | 「調査対象企業:500 社以上」とのご指示ですが、企業情報の「完成数が 500 社以上」でしょうか、または「訪問ヒアリング企業が 500 社以上」で、掲載に値しない企業を削除した場合、500 社を下回ってもよいのでしょうか？ | 「完成数が 500 社以上」です。 |
| 5 | 業務指示書 12 ページほか、全般にわたって | <p>企業調査・情報収集の対象の焦点は、工業化戦略対象業種の裾野産業分野の現地中小企業が中心と理解していますが、日本の中小企業と協業できる規模・技術を持った現地企業は、現地基準では「大企業」にあたるものも多いと思われます。この実態を考慮すると、現地企業情報の収集対象を、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現地の「大企業」 2. 現地の上場企業 <p>の両者にまで広げてよろしいでしょうか？</p> | 裾野産業分野の企業であれば「大企業」「上場企業」まで広げて頂いても結構です。 |
| 6 | 調査対象分野(業務指示書 12p)について | 業務指示書では、調査対象分野として工業化戦略の戦略6業種及びそれらの関連業種を対象として指定されています。一方、ベトナム政府の裾野産業発展計画(Supporting Industry Development Plan)では、繊維や皮革、履物など工業化戦略の対象業種とは一致しない業種が含まれますが、今回は業務指示書で指定された対象業種だけを調査範囲とすることでよろしいでしょうか。 | 原則として、今回は、工業化戦略に基づいた(マトリックスで記載してある)対象業種を調査範囲としてください。 |

| | | | |
|---|----------|--|---|
| 7 | 成果品について | <p>中小企業 500 社のデータベースを作成しますが、これは一覧表のようなリストをもって最終成果品という認識でよろしいでしょうか。それとも、データベースソフトのようなもので作成するなど、今後のアップデート、閲覧、検索に供するための形式で作成する必要がありますでしょうか。</p> | <p>報告書に必要な一覧を含めると共に、更新可能なソフト(excel等)でデータベースを作成していただき、両方を成果品として提出してください。</p> |
| 8 | 計上費用について | <p>越日、越英の通訳、翻訳は計上可能と認識しておりますが、間違いありませんでしょうか。</p> | <p>通訳、翻訳は原則越英間での計上を可能とします。</p> |

以上